

ま え が き

『ICU 日本語教育研究』第4号をお届けします。

本紀要は、『ICU 日本語教育研究センター紀要』と『ICU 夏期日本語教育論集』の統合誌第4号となります。

本学 ICU は 2008 年度から教学改革を実施しますが、日本語教育研究センターは、これまでどおり日本語教育に関する研究とその実践としてサマーコース (SCJ) を実施し、ICU の「I」の理念達成のために、日本語教育課程(JLP)とともに日本語教育に一層力を入れてまいります。そのために、学内のさまざまな部署との連携をさらに緊密にしております。

2007 年度のサマーコースには、222 名の応募者の中から選考の結果 116 名(23 ヲ国) の受講生が参加しました。その運営にあたっては、学長、副学長、各担当部署をはじめ、ディレクター広瀬正宜 (センター長兼務)、教務主任小川貴士、事務主任小松佳子・朝倉怜子が担当しました。(文化プログラム主任は適任者不在のためディレクターが兼務。) 実際に授業を担当なさった先生方 (21 名)、ホストファミリーの皆様、教務助手 (2 名)、ラボ/IT 助手 (4 名)、文化助手 (3 名) の ICU 生、ボランティアとして参加した ICU 生、地域の方々に深く感謝申し上げます。皆様のお力添えなくしては ICU サマーコースは成り立ちえません。

今後とも皆様のご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2008 年 1 月 7 日

日本語教育研究センター長
広瀬正宜